

第 46 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 26 年 4 月 22 日(火) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
2. 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階 COM 倶楽部会議室
3. 委員の出席 委員総数 8 名
出席委員 5 名
出席委員の氏名 稲垣千秋、稲井信也、高谷和彦
中村 保、牧野直子
以上 5 名
放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)
大平麻由美 (編成課長)
小川 亮 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組①卒園スペシャル 2014
②ラジオ講座「脚本入門講座」発・新作ラジオドラマを聴く
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

今回は、3月に放送しました、通常の番組とは一味違った特別番組的なものを2つ聴いていただきました。一つは「卒園スペシャル 2014」です。箕面市内の幼稚園、保育所、保育園の私立、箕面市立含めまして全てにお声かけをし、23の園・所の、4月から小学生に上がる子どもたちの歌声と先生がたのメッセージを放送した番組です。合わせて約1000人の子どもたちの歌声をお届けしたことになります。あらかじめ各幼稚園、保育所、保育園に放送スケジュールのポスターをお配りして保護者のみなさんにもお渡しいただいております。もう一つは、「ラジオ講座～脚本入門講座発新作ラジオドラマを聞く」という番組で、5日連続でラジオドラマを放送いたしました。このラジオドラマは、中央生涯学習センターの講座「原稿用紙5枚からはじめる脚本入門講座」を受講されたかたの作品です。それを箕面市を中心に活動されていますシニアの市民劇団「すずしろ」のみなさんが出演して、俳優の倉田操さんが演出をして、私たちが収録と効果音などの編集作業をする、いわば「コラボレーション」の番組で、箕面市教育委員会の提供でお送りいたしました。その7本の作品の中から1作品を聴いていただきました。それでは、ご意見をよろしく願います。

(2) 審議

委員 A：とても興味深く聴かせていただきました。子どもたちの歌もとても可愛かったし、良かったかなと思っています。番組の最後で「協力」として事業所名を言っていました。あれはスポンサーということでしょうか。

事務局：協賛金を頂きました。

委員 A：毎年そういうかたちでされているんですか。

事務局：昨年から頂くようになってます。昨年よりは2社増えました。

委員 A：あと「ラジオ講座」は、脚本も良くできているし、俳優さんの心理的な変化を上手に表現されている。これもすごく力作だなと思いました。とても力作なので、いろいろなかたちで再放送されても良いかなと思いました。以上です。

委員 B：卒園スペシャルもラジオ講座も今回、僕はさらっと、心地良く聴かせていただきました。子どもさんが出るから親御さんも引っ張り出す、輪が広がって聴いていただくかたが増えていく、というのが最大の効果じゃないでしょうか。

委員 C：一言で言うと、両方ともコミュニティ放送らしい番組でたいへん良かったと思います。先ほど、協力金？スポンサー？これは、スポンサーとタイアップして、記念にCDを有料配布して子どもたちに配布できれば。せっかくこれだけ録音したんだから、なにかプラスのしかけがあれば。それから、「ラジオ講座」。教育委員会がスポンサーで、なかなかやるなという印象。こういうスポンサーのやり方が増えていったら良いんじゃないかな、という感じがしました。脚本、演出がプロですから、さすがだなと。いずれにしても、両方とも良かったという認識でいます。以上です。

委員 D：子どもの元気さをすごく感じましたし、先生のコメントも温かさがあったんじゃないかなと思います。ただ歌とメッセージ、という内容が単純なのがものすごく効果があるんじゃないかと思いました。ここにPTAが一言声を入れたりすると、だいたい似通った意見が長々と続くようなそういう形になるけれど、それが無いのがこの番組はすごく良かったと思いますし、機械が発達してきて、親御さんでも録音できるようにはなっていますが、やはりタッキーさんが録った音には敵いませんよね。そういう意味では、あとでちゃんと、先ほども仰ったようにCDの製作をやりますよ、とか、なにか聞かれたときに「落とせますよ」とか、そういうことがあれば親切かなと思いますけどね。ラジオドラマの方ですが、聴いていても別に飽きるような内容じゃな

いですし、演出が倉田操さん、北の国からの倉本聰さんの富良野塾の生徒さんでしょ。せっかくだから、ちょっと演出をされているようなメッセージ、というのが少しでもあれば、どこを演出してこうなっているか、みたいなね。そういうのって、素人はいつも聞かない部分ですし見ない部分でしょ。「こういう演出を心がけました」といったプロの意見があつて、それをみんなが聞いていて「次脚本書くときはこうしよう」とか、そういう発展性が生まれてくれば、僕としてはたいへんうれしいなと思いました。

委員長：いろんな角度から聴いていただいて、ご意見ありがとうございます。私も番組を聴かせていただいて感激しましたね。私事ですが、初孫が4歳になったんですね。これ聞いていて胸がざわざわするような、うちももうすぐこんなになるんだな、と思つてものすごく感激しました。特に卒園とか入園とか、初めてのことで、気分的にも一番テンションが上がるときなので、記念になりますし、先ほどの意見にもありましたように、それをどのように広めていくか、またその仕掛け、スポンサーを取る仕掛けとか、参加していただいているみなさんにも広めるための仕掛け、そういったことをプラスアルファすると番組が何倍にも生きてきますので、考えて取り組んでいただいたら良いかと思つています。これからもこういった番組を進めていただいたら良いかと思つています。事務局から、他にありますか。

事務局：はい。ご欠席の委員からコメントを頂いていますのでご紹介します。「卒園スペシャルについてはコミュニティFMならではの番組だと思います。園児が歌う、例えとは言え「生んでくれてありがとう」とか「おじいさんになつてもおばあさんになつても」などの歌詞に驚きました。今の園児はこんな歌を歌っているんですね。先生の声も入っているの、タッキー816を聴いてね、などというメッセージと滝ノ道ゆずるをCDに印刷して卒園記念盤として販売したらどうでしょうか。500円くらいで。ラジオドラマの方は、防災ドラマならぬ防犯ドラマか、と聴いていたら何と人情ドラマに。ベタな展開ですが、思わず聴き入ってしまいました。若いときの苦労は汗だけど、年を取つてからの苦労は涙になる」というセリフが心に残りました。ほかのド

ラマも聴いてみたいですね。いつも番組試聴で思うことですが、一つひとは良い番組なのに、その事前アピールと記載がないので、当事者しか放送日及び内容が分かりません。例えば、まちの情報箱の中で、イチオシ番組などのコーナーにしてラジオドラマなどを含めた紹介などをしてもらいたいかどうか」というコメントを頂きました。今回、ラジオドラマと卒園スペシャルに関して、この「まちの情報箱」を使って裏面の番組トピックスのところに、事前に3月号でお知らせさせていただいたり、ホームページでも早く掲載をし、メルマガでも毎週告知し、ラジオ講座に関しては箕面市のご提供もありましたので、もみじだよりも掲載をさせていただいたり、できるPRをしてみたのですが、やはりなかなか気付いていただくということは難しいのだなと感じています。番組の制作に当たっては、23の園・所ということで、レポーター総動員で取材に当たり、編集にも市民スタッフが時間を費やしました。ラジオ講座に関しましても、「すずしろ」のみなさんが何テイクも録り直しをされて、編集し、効果音入れた段階で、演出の倉田さんに聴いていただき、「ここの効果音のタイミングをもう少しずらして」とか、「この音は高めに」などご注文を受けて、作り直しを何度もして手間をかけました。そういったことがあって、無事放送させていただき、みなさんからも高評価いただけたのかと感じています。

委員長：日頃、「これだけ苦労してこれだけやった」というようには事務局はあまり言いませんよね。これからは、もっと「このようにやって良い番組ができたんです」とアピールしていけば良いと思います。良いことも悪いことも含めて説明していただいて、理解していただいたほうが良いかと思しますので、よろしくお願いします。

委員C：PRは何と言ってもロコミ。あと、予算が無いときはどれだけ人のふんどしで相撲がとれるか。これが一番ですよ。如何に企画をして、いろんなところを巻き込んで、いくつつくることができるか。企画モノを、タッキーが企画しているろんなところを巻き込んで作りあげていくというしくみ、これが、防災が良いかは別として、これから企画というのが一番大きな仕事だと思います。

委員 A：もし箕面市立図書館で「ラジオ講座」のコピーが聞けるのであれば、図書館とタイアップして、PR、「ここに置いてあります」とコーナー横に吹き出しでも付けて、みんなの目が行くように。そうすると、「こんなのできるんだったら、自分も次トライしてみたい」という人が出るかもしれない。それは教育委員会にとってもプラスになる。そしてリスナーが増えていくように、受講生が増えていくように、タイアップした取り組みを続けていかれたら良いと思います。

委員 D：聴けば興味が湧いて、こういうことをやっているんだったら次は受けようとか、そういう啓発になると思う。そこをもっとうまく宣伝できれば。最終的に発表できる場があるということが素晴らしいです。その道筋があることが分かればやる気も出てくる。

委員長：それでは、今回はこれで締めさせていただきます。ありがとうございました。

一同：ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://fm.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 26 年 4 月 22 日

箕面 FM まちそだて株式会社 番組審議会